

経営比較分析表（令和3年度決算）

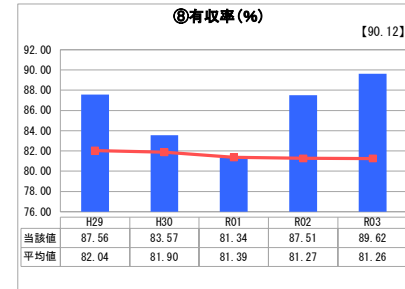
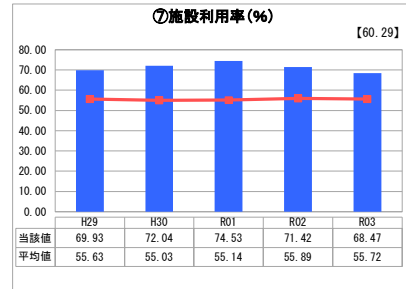
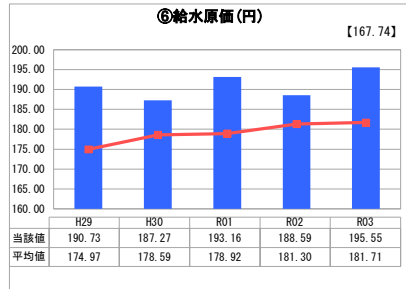
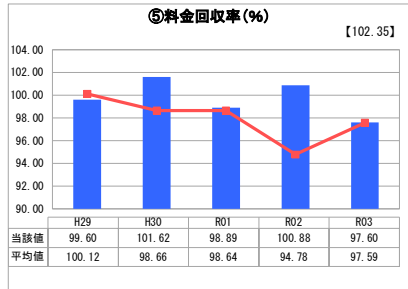
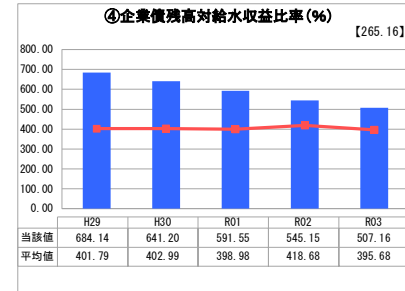
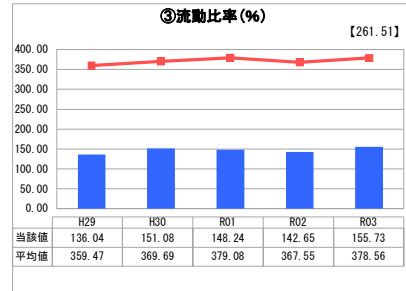
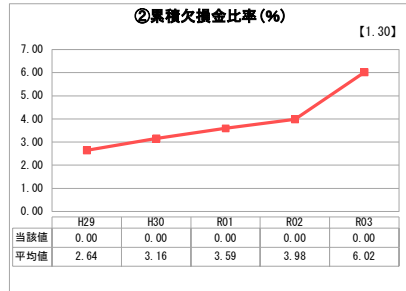
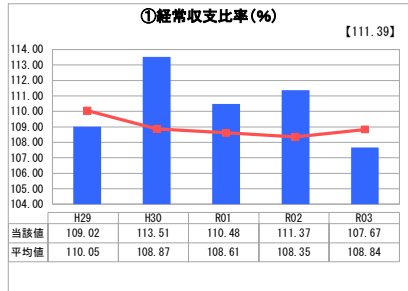
宮城県 高橋町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	53.16	91.09	3,311	

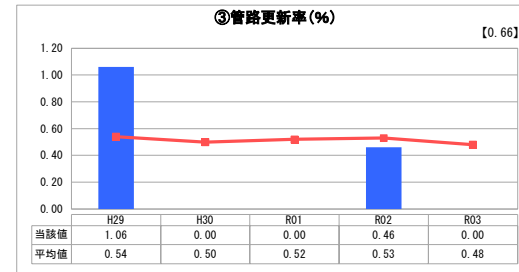
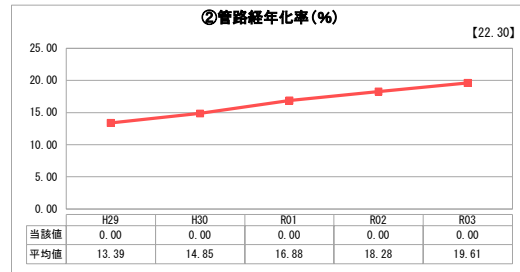
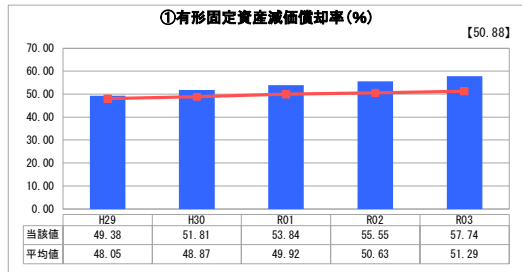
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
19,978	43.80	456.12
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
18,059	10.28	1,756.71

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
令和2年度と比較すると減少しているが、数値は100%を超えており、健全な水準にある。
- ②累積欠損金比率
欠損金がないため、健全な状態にある。
- ③流動比率
類似団体平均を下回っているが100%を超えており、健全な水準にある。流動資産・流動負債ともに、大きな変動は予想されないため、今後、大きく増減することなく推移するものと推察される。
- ④企業債残高対給水収益比率
高い水準ではあるが、年々減少傾向にあり、今後も減少していくものと推察される。
- ⑤料金回収率
100%を下回っているが類似団体平均値並であり、健全な水準にある。今後は100%前後で推移していくと推察される。
- ⑥給水原価
類似団体と比較すると依然として高い水準にあり、今後は経費の削減等の改善が必要となる。
- ⑦施設利用率
類似団体と比較して高い水準で、適切且つ効率良く水道施設を利用できており、良い状態を維持できている。
- ⑧有収率
類似団体と比較して高い水準である。今後も漏水調査等を計画的に実施し、効率の良い運営をしていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
類似団体平均値より高い水準であり、今後も増加していくと推察される。定期的な施設の更新が必要となる。
- ②管路経年率
当該値0%のため、適正に管路更新が実施できている。
- ③管路更新率
類似団体と比較すると低く、今後も計画的な管路更新が必要となる。

全体総括

漏水調査や修繕を実施しているため、有収率は高水準である。しかし、計画的に管路の更新を実施しており、企業債残高対給水収益比率は高く、給水原価も高いため、今後も健全かつ効率的な経営を継続しながら、水道料金の見直し等も含め、管路や施設等の整備を実施していく。